

関係者各位

2026年6月30日
株式会社シノプス
代表取締役社長 岡本数彦

コープさっぽろ、日本物流大賞受賞の「荷量の平準化」を支えた 食品バリューチェーン最適化サービス「DeCM-PF」導入を正式発表 ～積載率93%へ向上、年間2.6万時間の労働削減に寄与～

株式会社シノプス（本社：大阪府豊中市、代表取締役社長：岡本数彦、以下「シノプス」）、伊藤忠商事株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長COO：石井敬太、以下「伊藤忠商事」）が共同展開する食品バリューチェーン最適化サービス「DeCM-PF（ディーシーエムプラットフォーム）」が、生活協同組合コープさっぽろ（本部：北海道札幌市、理事長：大見英明、以下「コープさっぽろ」）に正式導入されていることをお知らせいたします。

本件に関連し、コープさっぽろ、および関連会社の北海道ロジサービス株式会社（本社：北海道江別市、代表取締役社長：岩藤正和）が「DeCM-PF」を活用して取り組んだ「『DX×匠の現場力』による物流構造改革～AI需要予測を用いた配送1便化と地域シェアリングモデルの構築～」が、一般社団法人日本物流団体連合会が主催する「第1回日本物流大賞」において大賞を受賞いたしました。



【授賞式の様子】

写真左から、株式会社道南エース 専務取締役 高田 潤司 氏、
札幌軽量急送株式会社 常務取締役 長谷川 真也 氏、
北海道ロジサービス 専務取締役 川上 敏也 氏、
シノプス DeCM推進部部长 宮崎 嗣、伊藤忠商事 食品流通部部长 岩井 大五郎 氏

※「sinops」「sinops-CLOUD」は株式会社シノプスの商標登録です

■背景

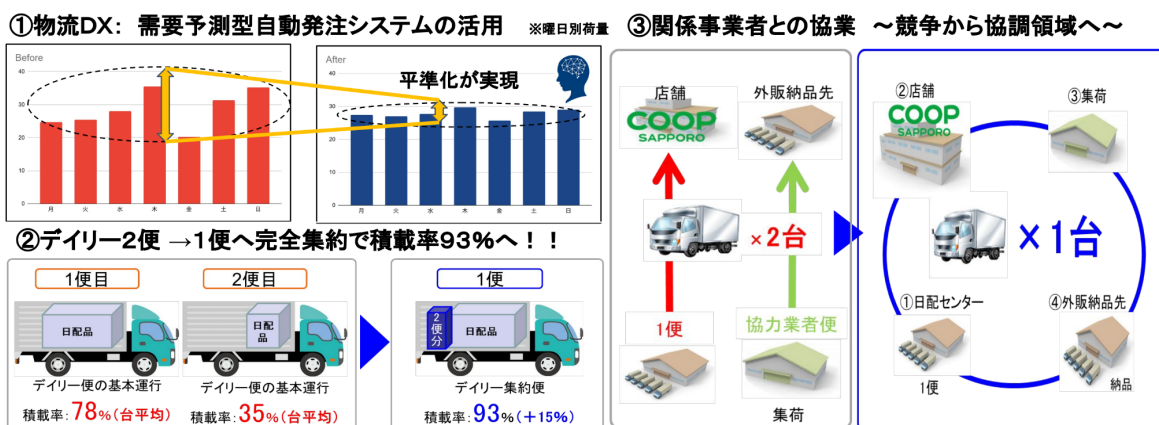
現在、食品物流の現場は深刻な人手不足に直面しています。産業全体で進む人口減少に伴うトラックドライバー不足に加え、2026年4月に施行された「流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律等の一部を改正する法律（改正物流効率化法）」*1により、運送会社だけでなく荷主企業にも配送効率化への具体的な対応が求められるなど、持続可能な物流網の維持は社会的な急務となっています。

北海道内に100以上の店舗や宅配システムを提供するコープさっぽろと、その物流を担う北海道ロジサービスでは、賞味期限の短い「日配品（納豆・豆腐・乳製品など）」の配送効率化が大きな課題の一つでした。北海道ロジサービスが運用する専用物流センターから、コープさっぽろの各店舗への配送スケジュールは、製造メーカー、物流センター、店舗といったサプライチェーンの各工程が個別の都合を優先していたため、前工程の制約に完全に縛られていました。さらに店舗の特売や曜日による需要の激しい変動が重なり、特定の日に配送が集中。結果、1便目のトラックに収まりきれない荷物を運ぶために運行していた「2便目」は、平均積載率35%という極めて低効率な運行が常態化していました。ドライバー不足が進み、物流側がすべての不利益を飲み込んで維持する「耐える物流」が限界を迎える中、両社はITを活用した抜本的な構造改革へと踏み切りました。この取り組みの中核（荷量の平準化）を担ったのが、シノプスと伊藤忠商事が提供する「DeCM-PF」です。

*1 流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律等の一部を改正する法律（改正物流効率化法）：荷物の発送量の適正化や混雑時間をさけた配送日時の指定など、運送会社だけでなく荷主にも物流の効率化を求める法律。

■取り組みについて

【概要図】

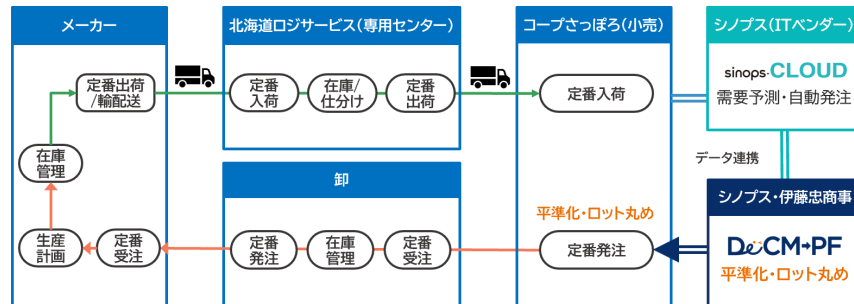


コープさっぽろが、2021年より導入しているシノプス開発の需要予測型自動発注サービス「sinops-CLOUD（シノプスクラウド）」と、「DeCM-PF」の「平準化ロジック」を組み合わせることで、2024年7月より荷量平準化を実現しています。一般的に、店舗の売上は曜日によって大きく異なるため、店舗の発注量・納品量も曜日によってばらつき、配送や物流センター業務の効率悪化に繋がっていました。今回の大賞を受賞した取り組みでは、「sinops-CLOUD」の高度な需要予測データと「DeCM-PF」を連携。直近7日間の需要予測を活用し、商品の賞味期限や店舗の棚のキャパシティを考慮しながら、極力曜日ごとの納品量が一定になるよう発注数を自動でコントロールしました。この「荷量の平準化」によって日々の物量のピークをおさえた結果、在庫を適切に管理しながら、従来の日配配送2便制だった配送体制を「1便化」へ集約することに成功しました。さらに、この「DeCM-PF」による1便化を起点として、現場では他社システム等を組み合わせた運行ルート最適化や、生まれた車両の余力時間を活用した共同配送（地域シェアリングモデル）の構築、製造工場側での効率的な生産集約（1バッチ化）なども合わせて実施されました。受賞は、「DeCM-PF」が実現した「荷量の平準化（DX）」を土台に、現場での効率的な実運送や関係事業者との連携（匠の現場力）が一体となり、サプライチェーン全体の最適化を成し遂げたことが高く評価されたものです。

【取り組みイメージ】

DeCM→PF

Demand Chain Management-PlatForm



■導入・実施による主な成果

【カートラックの積載画像】



※便を集約することで、カートラの積載率も大きく向上した

【トラックの積載画像】



※便を集約しても、1便にすべて積載可能な配車組みに設定

主な取り組み成果

本取り組みにより、物流効率および環境・労働負荷において以下の様々な成果*2 を創出しています。

積載率の向上：93%（実施前と比較して58ポイントの大幅改善）

労働時間の削減：年間26,448時間削減（毎日トラック7台分を解放）

環境負荷の低減：CO2年間310t削減（スギの木約2.2万本分に相当）

*2 北海道ロジサービス調べ

■北海道ロジサービス様よりコメント

北海道ロジサービス株式会社 専務取締役 川上 敏也 様

弊社の効率化への取り組みにおいて、シノプス様の需要予測システム、需要予測を活用したDeCM-PFの取り組みは大きな推進力となり、今回の受賞を支えていただきました。心強いサポートに感謝いたしますとともに、今後も持続可能な物流モデルの構築に向け、さらなる連携を期待しております。

■今後の展望

「DeCM-PF」は、小売業・卸売業・製造業をつなぐことで、食品バリューチェーン全体を最適化するプラットフォームです。今回の受賞は、小売起点の需要予測データを基盤とした「荷量の平準化」が物流現場の生産

※「sinops」「sinops-CLOUD」は株式会社シノプスの商標登録です

性を劇的に変えることを証明しました。

今後、コープさっぽろと北海道ロジサービスでは、現在の仕組みを定番品だけでなく、特売品や卸向けの発注へと拡大する準備を進めています。シノプスと伊藤忠商事は、本受賞を機にパートナーシップをさらに深め、社会課題である物流問題の解決と、持続可能な物流モデルの全国的な普及を目指してまいります。

■株式会社シノプスについて

株式会社シノプスは、「世界中の無駄を10%削減する」をビジョンに掲げ、需要予測型自動発注サービス「sinops」（シノプス）を開発・販売しているソフトウェアメーカーです。日配食品や惣菜といった賞味期限が短く需要予測がむずかしいとされるカテゴリーのシステム化に成功。多くの食品小売企業に採用いただいております。在庫に関わる人、もの、金、時間、情報を最適化するITソリューションを提供し、限りある資源を有効活用することで、広く社会に貢献していきます。東証グロース上場（証券コード：4428）。

■食品バリューチェーン最適化サービス「DeCM-PF」について

「DeCM-PF」は、小売業・卸売業・製造業をつなぐことで、食品バリューチェーン全体を最適化するプラットフォームです。現在、製造業や卸売業では、小売業や消費者が欲しい商品数を正確に把握することが難しく、見込みで生産・在庫計画を立てた結果、余分な在庫が発生したり、効率の悪い物流が生じています。「DeCM-PF」は、小売業の実績や計画に基づいてAIが算出した高精度な需要予測データを、卸売業や製造業に連携することで食品流通の課題を解決し、バリューチェーンの最適化を推進します。

■需要予測型自動発注サービス「sinops-CLOUD」について

需要予測・自動発注を軸としたクラウドサービスを1カテゴリー・1機能・1店舗から、必要な機能を必要なときに低価格で導入いただけます。在庫情報をリアルタイムで収集する「リアルタイム在庫」や45日先までの客数を予測可能な「客数予測」（精度94.7%以上）、販売実績や天気予報などのさまざまなデータから、店舗にあわせた発注数をAIが算出する自動発注サービスのほか、惣菜の値引き率・タイミングをAIが導き出す「AI値引」などもラインナップしています。

「sinops-CLOUD」製品サイト <https://www.cloud.sinops.jp/>

■参考

・2025.06.18配信プレスリリース

[シノプスと伊藤忠商事、小売業を起点とした発注コントロールにより特売リードタイムを長期化参画企業100社突破](#)

・2023.12.08配信プレスリリース

[シノプスと伊藤忠商事、食品バリューチェーン最適化サービス「DeCM-PF」を提供開始](#)

・2021.06.15配信プレスリリース

[コープさっぽろsinops導入の正式契約が決定 ～自動発注でDXをさらに加速～](#)

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社シノプス 管理部 IR担当

Email: ir@sinops.jp

お問い合わせフォーム: <https://www.sinops.jp/contact/>